

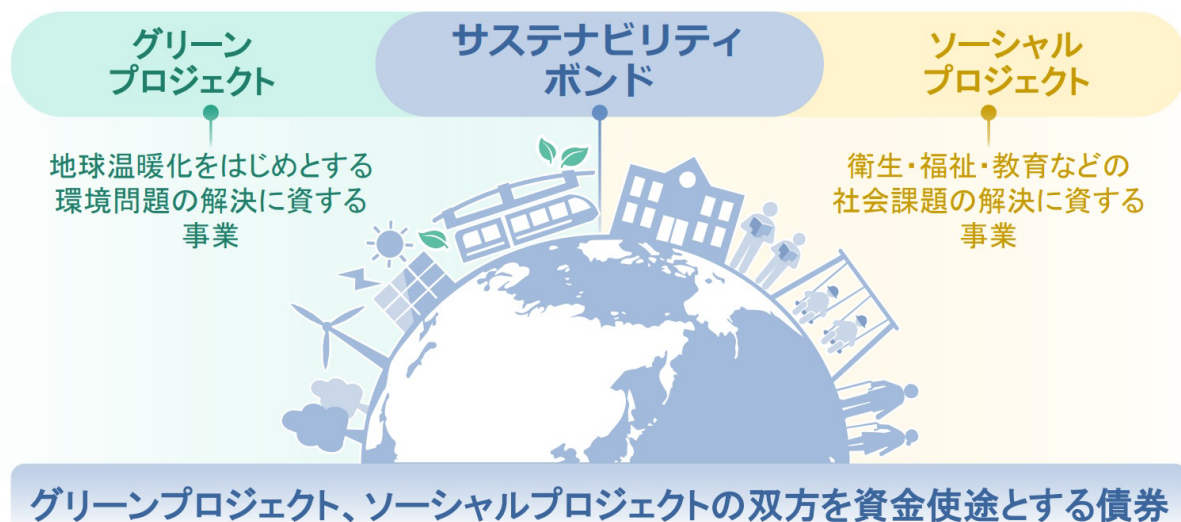
2023年8月25日
株式会社 新昭和

千葉県内自治体初となる千葉市 SDGs 債 「サステナビリティボンド」への投資について

「一人ひとりが、輝く明日を。」をコミュニケーションワードに多彩な事業を展開する、新昭和グループ(本社:千葉県君津市 グループ CEO 松田芳彦)は、このたび、千葉市が発行するサステナビリティボンド(千葉市令和5年度第4回公募公債(サステナビリティボンド))、以下「本債券」というに投資したことをお知らせします。

【サステナビリティボンドとは】

調達資金の全額が環境問題の解決を目指すグリーンプロジェクトや、社会課題の解決を目指すソーシャルプロジェクトの双方に使われる債券です。



【フレームワークの策定および適合性評価】

本債券の発行にあたって、千葉市は「千葉市サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定し、国際資本市場協会(International Capital Market Association、以下「ICMA」という)による「グリーンボンド原則 2021」、「ソーシャルボンド原則 2021」、「サステナビリティボンドガイドライン 2021」等との適合性について、第三者評価機関

である株式会社日本格付研究所(JCR)から外部評価(セカンドオピニオン)を取得しています。

株式会社日本格付研究所(JCR)より

最上位
評価の

SU1(F)

B1(F)

を取得

【資金使途として想定している主な事業】

本債券は、フレームワークで策定された適格グリーンプロジェクトに該当する市有施設（グリーンビルディング）の新設・改修、鉄道・モノレール関連施設・設備整備、河川の管理・改修や、適格ソーシャルプロジェクトに該当する学校・教育施設整備、防災・災害対策、市有施設のバリアフリー化へ主に充当される予定です。

ICMA原則プロジェクトカテゴリー	充当予定事業名	想定される効果	
グリーン	グリーンビルディング 新庁舎整備事業 (ZEB Ready認証取得済み)	環境負荷の低減 (温室効果ガスの排出削減)	
	クリーン輸送 都市モノレールの車両更新	環境負荷の低減 (温室効果ガスの排出削減)	
	気候変動への適応 河川の浚渫	水害発生時の浸水被害軽減等	
ソーシャル	必要不可欠なサービスへのアクセス 小学校改修事業	学校教育の振興	
	手ごろな価格の基本的インフラ設備	橋の長寿命化工事	防災対策の推進
		トイレのバリアフリー化	持続可能なまちづくり



新庁舎整備事業



都市モノレールの車両更新



小学校改修事業



トイレのバリアフリー化

<本債券の概要>

銘柄	千葉市令和5年度第4回公募公債（サステナビリティボンド）
年限	10年
発行総額	50億円
発行日	2023年（令和5年）8月25日（金）

引き続き、当社は、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、本債券をはじめとした ESG 領域における投融資を一層推進してまいります。

以上